

# 西国巡礼慈悲の道

西国第十五番 新那智山 今熊野観音寺

## お香に包まれて

山主 藤田浩哉



私達は西国巡礼の際、御  
れたものがございます。

本尊様へ蠟燭に明かりを灯

し、御線香を御供え致します。

この香とは一体何を意

味しているのでしょうか。

単純に匂いを発するだけの

ものでしょうか。香には

「香十徳」とし、香の効用

を端的に、そして格調高く

伝える詩文が残されており

ます。北宋の詩人でもあり

優れた書道家でもある黄庭

堅の作であり、日本に於い

て一休禪師によって紹介さ

す。

1 感格鬼神

2 清浄心身

3 能徐汚穢

4 能覚睡眠

5 静中成友

6 塵裏偷閑

7 多而不厭

8 寡而為足

9 久藏不朽

10 常用無障

ぞく

4 よく睡眠（眠気）を覚ま

す 5 孤独感を拭う 6 忙

しい時も和ませる

7 多くあっても邪魔になら

ない 8 少なくとも十分に

香りを放つ

9 長時間保存しても朽ちな

い 10 常用しても無害

このように香は様々な効

能があるようです。そして

この効能以外にも薬として

治療に使われていた事もあ

るようで、西国巡礼をされ

ているたくさんさんの御姿の中

には御本尊様に供えられた

御線香の煙を身体に付ける

仕草をとられる方を多くお

見かけ致します。老若男女

に関わらず頭であったりお

腹であったり、全身に至る

までその箇所は様々です。

これが薬として治療に使わ

れていた事があった習慣の

名残なのでございませう。

そして言い伝えではお釈

迦様が法を説かれる時には

華と香が虚空から降り注

ぎ、最上質の香を焚いた香

炉がひとりでに動きまわり

諸仏を讃えたと言う説話が

残っております。香はその

場所を仏の世界に変えるの

でございます。

私達がこんなにも有難い

香を観音様に御供えする

時、その功德とは大変大き

なものでございます。たと

え御線香を一本御供えする

のも一つ一つを丁寧真摯

に勤めて頂く事で観音様は

また新しい教えで私達を導

いて下さるのでございま

す。 合掌

西国第十五番

いまくまの かのんじ  
 新那智山 **今熊野観音寺** 真言宗泉涌寺派

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／弘法大師空海上人

むかしより たつともしらぬ いまくまの  
 ほとけのちかい あらたなりけり



### ✳️ 主な年中行事 ✳️

- 正月三ヶ日 初詣・修正会  
 1月15日 新年開運厄除大祈願祭  
 成人の日 泉涌寺七福神巡り(恵比寿神奉安)  
 3月彼岸中日 春季彼岸会法要  
 6月15日 弘法大師ご誕生法要(青葉祭)  
 8月16日 お盆施餓鬼法要  
 9月彼岸中日 秋季彼岸会法要  
 9月21日～23日  
 四国八十八ヵ所霊場お砂踏み法要  
 11月下旬 もみじ祭り  
 毎月15日 永代供養法要  
 毎月21日 弘法大師御影供

### 観音風光

今熊野観音には昔から珍しい枕の信仰があります。後白河法皇が頭痛でお悩みのときに今熊野観音様が枕元に立たれて御霊験を發せられたことから枕の信仰が生まれしました。今でも、多くの人々が毎朝ご祈禱される「枕カバーのお護り」を授かっておられます。皆様も是非、この今熊野観音様の御利益を受けてお参りくださいませ。

### ご詠歌の意味

『昔より立つとも知らぬ今熊野 仏の誓いあらたなりけり』とは諸説ございますが、今熊野の観音様は昔から人々が気付かないうちに衆生済度の御誓願を立てておられ、その靈験は誠にあらたかである。という意味でございます。

〒605-0977 京都市東山区泉涌寺山内町32  
 TEL 075-561-5511 <http://www.kannon.jp/>  
 納経時間 午前8時～午後5時

西国三十三所礼所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。